

今年の漢字

Kanji of the Year

毎年、日本漢字能力検定協会が12月に「今年の漢字」を発表しています。2020年の漢字は「蜜」でした。年末に学生たちもそれぞれの1年を振り返り、2020年の漢字を考えてみました。

Every year, the Japan Kanji Aptitude Testing Association announces the "Kanji of the Year" in December, and the one for 2020 is "蜜 (dense)." At the end of the year, the students also reflected on their own year and thought about their kanji for 2020.

■ スリピット(カンボジア)

2020年のことばはなごむ(和む)です。Covid pandemicがありますから、私は四月日本にいて、べんきょうしません。Onlineでべんきょうします。みなさんはonlineでべんきょうして、はたらきます。それから、大きなパーティーもありません。どこにもりょこうできません。たいていみなさんは家にいます。いつもマスクをかけています。少しだけ出かけます。たくさんでんきをつかいます。お金がありません。みなさんはストレスがありますから、和んだほうがいいです。だいじょうぶです。

(和む = relax, calm down)

和む

■ フローレット(ガーナ)

私は2020年をわすれません。ことしは、ぜんばんてきにたいへんでした。びょうきとしんぱいとおそれがありました。

くらくて、たいへんなときがありました。あかるくて、たのしいこともありました。ことしは、かぞくとたくさん勝利をおこしました。たくさんいいニュースを聞きました。私も日本にべんきょうしにきました。ちからとのぞみとあいをべんきょうしました。さらに、少しのことにかんしゃすることをべんきょうしました。2020年にすべてけいけんをしました。私はありがたいと思っています。

よりよいみらいにきたいします。

(勝利 = victory)

勝利

■ ティップ(タイ)

感謝

今年、新型コロナウイルスの発生がありました。みなさんの生活スタイル変わりました。たくさんことが変わりました。日本におそきました。三が月ぐらいうちにいました。でも、うちにいたとき、自分自身について探る時間がありました。私は運がいいとおもいます。たくさんの方が死にました。私とかぞくは生きています。みなさんげんきです。びょうきじゃありません。そして、まだ仕事があります。たくさんの方は仕事を失いました。私は好きな食べ物を食べました。そして、旅行しました。いいともだちもあります。それから、MEXT奨学金

をもらいました。日本に勉強しに行くはいい機会だと思います。人生はいいと思います。私はときどき人生がよくないと思いました。でも、毎日、いいことがあります。たくさんの方に感謝しています。今年、ありがとうございました。来年、がんばりましょう！

(感謝 = thankful, appreciation)

■ ランニー(インドネシア)

今年おこったことにもかかわらず、私はすべてにかんしゃします。私の夢は実現しました。だから、この漢字をせんたくしました。英語で「dream」、

「vision」、「illusion」です。「wish」といういみもあります。日本にべんきょうしに来るのは私の夢でした。三月からかぞくとたのしい時間をすごしました。かぞくはしじしています。今、私はここにいます。いっしょけんめいべんきょうして、かぞくにほこりに思ってもらいます。

(夢 = dream)

夢

日本語教室より

このような状況を反映し、今年の漢字には「蜜」を筆頭に「禍」「病」「新」「変」といった新型コロナに関連する漢字が並んでいたそうです。その年を表す漢字ということで、当然かもしれませんが、学生が選んだ漢字がすごく対照的で本当に明るい気分になりました。2021年も素敵な漢字を選べるような年にしてほしいと思います！